

製品名: EGFR (ErbB 1) (9C2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10340**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	134kDa

抗原情報

遺伝子名	EGFR
別名	ERBB1; Epidermal growth factor receptor precursor; Receptor protein-tyrosine kinase ErbB-1; kinase EGFR;
遺伝子 ID	1956.0
SwissProt ID	P00533
免疫原	ヒト EGFR の合成ペプチド

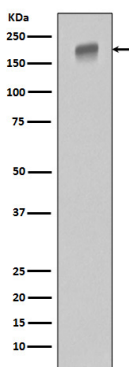
背景

EGFRは受容体型チロシンキナーゼです。上皮成長因子(EGF)および関連成長因子(TGF- α 、アンフィレグリン、ベータセルリン、ヘパリン結合性EGF様成長因子、GP30、ワクシニアウイルス成長因子など)の受容体であり、細胞の増殖と分化の制御に関与しています。受容体型チロシンキナーゼはEGFファミリーのリガンドに結合し、複数のシグナル伝達カスケードを活性化することで、細胞外シグナルを適切な細胞応答に変換します(PubMed:2790960、PubMed:10805725、PubMed:27153536)。既知のリガンドには、EGF、TGFA/TGF- α 、AREG、エピゲニン/EPGN、BTC/ベータセルリン、エプレグリン/EREG、HBEGF/ヘパリン結合EGF(PubMed:2790960、PubMed:7679104、PubMed:8144591、PubMed:9419975、PubMed:15611079、PubMed:12297049、PubMed:27153536、PubMed:20837704、PubMed:17909029)などがあります。リガンド結合は、受容体のホモ二量体化および/またはヘテロ二量体化と、主要な細胞質残基の自己リン酸化を引き起こします。リン酸化受容体はGRB2などのアダプタータンパク質をリクルートし、これが下流の複雑なシグナル伝達カスケードを活性化します。RAS-RAF-MEK-ERK、PI3キナーゼ-AKT、PLC γ -PKC、STATモジュールを含む少なくとも4つの主要な下流シグナル伝達カスケードを活性化します(PubMed:27153536)。NF- κ Bシグナル伝達カスケードも活性化する可能性があります(PubMed:11116146)。また、RGS16などの他のタンパク質を直接リン酸化してGTPase活性を活性化し、EGF受容体シグナル伝達をGタンパク質共役受容体シグナル伝達に共役させると考えられます(PubMed:11602604)。さらに、MUC1をリン酸化してSRCおよびCTNNB1/ β -カテニンとの相互作用を増加させます(PubMed:11483589)。CCDC88A/GIVとの相互作用を介して細胞遊走を正に制御します。CCDC88A/GIVはリガンド刺激後にEGFRを細胞膜に保持し、細胞遊走を誘発するEGFRシグナル伝達を促進します(PubMed:20462955)。学習および記憶能力の向上にも関与しています(類似性による)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の EGFR のウェスタン プロット分析。